



# 現場からこんにちは！！



今月の現場 木曾川町 様邸

2007年11月



心落ち着く和の庭園を象徴する「つくばい」は、施主様がお持ちだった「うす」を水鉢に再利用し、庭石も全て再利用して作られています。

つくばい脇の枝垂れモミジも徐々に色づき始め、真っ赤な落ち葉が水鉢の水面に映し出される日もそう遠くは無いでしょう。



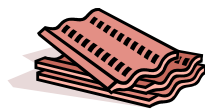
「カッコーン」という日本人なら誰しも癒される獅子おどしのならぬ「猫齧し」の音色。

今では滅多に見かけなくなった日本の美を再現しました。これは見せかけの飾りだけではなく、ちゃんと実働するんですよ！



瓦を立てて埋め込む事で趣のある和のアプローチを作製しました。個性的なデザインだけでなく機能性も十分満たした昔ながらの技法です。

身近にあるものを上手に生かして生活の中に取り入れる先人の知恵には改めて感心してしまいます



メインアプローチは大磯砂利（黒系砂利）の洗い出しを行い滑りにくい上に汚れが目立たない設計になっています。

所々に鉄平石を張り込み高級感を演出しながらも、高齢者の歩行の妨げにならない様、完全バリアフリー設計に気を配っています。



庭木もメンテナンスし易く、背が高くない物を選択。

「脚立に上って転倒して怪我でもしてしまったら大変」とご夫婦からのご要望にお答えして植栽しました。

写真では見難いですが、地面は杉苔と玉竜その他の低木でデザインを施し、シンプルでありながらも細かい工夫が随所に生かされています。

お庭の紹介快く協力して下さった 様にはこの場を借りて改めて御礼を申し上げます。